

○地域リハビリテーション関係機関の機能・役割について

	職能団体（リハ専門職）	職能団体（リハ専門職以外）	行政機関	
修正前	①支援機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・広域支援センターを窓口としたリハビリテーション専門職の協力体制の構築により、地域リハビリテーション関係機関の支援に努める。 ・研修会等を通じて、専門職の地域リハビリテーションに対する意識向上に努める。 ・地域支援に携わるリハビリテーション専門職を増やすとともに、知識・技能の向上に努める。 ・他職能団体等との研修会の協働開催や地域相互の交流促進に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広域支援センターとの相互理解を推進し、広域支援センターとの相談・協力体制の構築に努める。 ・研修会等を通じて、専門職の地域リハビリテーションやリハビリテーション前置主義に対する意識向上に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広域支援センターとの相談・協力体制の構築により、地域住民の予防的リハビリテーションの推進に努める。 ・研修会等を通じて、地域の多職種協働の促進や地域住民への啓発に努める。 ・広域支援センター及び住民組織等と協働して地域の課題解決に努める。
	②連携体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡協議会等への積極的参加を通じて、地域の関係職種との情報交換と課題解決、及び地域リハビリテーション関係機関相互のネットワーク構築に努める。 ・多職種・多機関との連携強化により、急性期・回復期・地域生活期の切れ目のない支援だけでなく、急性期・在宅間の円滑な入退院支援に努める。 ・在宅療養者及びその家族（支援者）を主体とした生活支援の推進に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡協議会等への積極的参加を通じて、地域の関係職種との情報交換と課題解決、及び地域リハビリテーション関係機関相互のネットワーク構築に努める。 ・医療提供者の連携強化により、医療依存度の高い方等も安心して在宅療養に移行できる体制の構築と、「治し・支え・癒す」質の高い地域医療の提供に努める。 ・高齢者に切れ目のないリハビリテーションが提供されるよう、適切なケアサービスのマネジメントの促進に努める。 ・リハビリテーション看護の視点を持ち、対象者の安全・安楽・自立と平和な死への援助に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡協議会等への積極的参加を通じて、地域の関係職種との情報交換と課題解決、及び地域リハビリテーション関係機関相互のネットワーク構築に努める。 ・保健・介護・福祉分野の職員が地域リハビリテーションの視点をもって業務に取り組むことにより、領域横断的な連携の促進に努める。 ・高齢者に切れ目のないリハビリテーションが提供されるよう、適切なケアサービスのマネジメントの促進に努める。
	③住民参加の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民に対する健康増進・介護予防・認知症対策・コミュニケーション障害等の啓発に努める。 ・患者団体や家族会等の支援に努める。 ・学校教育におけるリハビリテーションの普及啓発に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民に対する健康増進・介護予防・認知症対策等の啓発に努める。 ・高齢者だけでなく、小児、障害者、難病患者等も含めた地域づくりに努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種講座等においてリハビリテーションの視点を積極的に導入し、地域住民に対する健康増進・介護予防・認知症対策等の啓発に努める。 ・地域住民主体の健康増進・介護予防・認知症対策等の取組を促進するとともに、広域支援センター等と協働し、その支援に努める。
	④市町村との協働	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村の地域特性、資源状況や施策の方向性等について、行政機関等との情報共有に努める。 ・リハビリテーション専門職の少ない地域への支援に努める。 ・地域ケア会議等の地域包括支援ネットワーク構築の場への専門職の参加促進に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村等との連携の要になりうるリハビリテーションの視点をもった専門職の増加に努める。 ・行政機関との連携により、予防的ケアが必要な方の支援に努める。 ・広域支援センター等と協働し、地域に不足している地域リハビリテーション関連資源等を検討し、多職種と協働して既存資源の活用促進及び新しい資源の構築に努める。 ・地域ケア会議等の地域包括支援ネットワーク構築の場への専門職の参加促進に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村の地域特性、資源状況や施策の方向性等について、地域の関係機関及び地域住民等との情報共有に努める。 ・広域支援センター等と協働し、地域に不足している地域リハビリテーション関連資源等を把握し、既存資源の活用促進及び新しい資源の構築に努める。 ・地域ケア会議等を開催し、住民組織や多職種・多機関による地域包括支援ネットワークの構築に努める。
修正後	①支援機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・広域支援センターと連携して、リハビリテーション専門職の協力体制の構築に努めるとともに、広域支援センターを窓口とした関係機関支援の促進に努める。 ・研修会や広報活動等を通じて、地域リハビリテーションに対する意識を向上させ、地域支援に携わるリハビリテーション専門職を増やすとともに、知識や技術の向上に努める。 ・他職能団体や地域の関係機関等との連携を強化し、職種を超えた人材育成及び地域支援機能の強化に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広域支援センターとの相互理解を推進し、広域支援センターとの相談・協力体制の構築に努める。 ・研修会や広報活動等を通じて、地域リハビリテーションの意義の啓発に努める。 ・他職能団体や地域の関係機関等との連携を強化し、職種を超えた人材育成及び地域支援機能の強化に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広域支援センターとの相談・協力体制の構築により、地域住民の予防的リハビリテーションの推進に努める。 ・研修会や広報活動等を通じて、地域リハビリテーションの意義の啓発及び地域の多職種協働の促進に努める。 ・広域支援センター及び住民組織等と協働して地域の課題解決に努める。
	②連携体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・各圏域で開催される連絡協議会への積極的参加・協力により、圏域ごとの連携体制の構築に寄与するとともに、地域リハビリテーションに係る現状と課題の共有及び解決に努める。 ・横（多職種・多機関）と縦（急性期・回復期・地域生活期）の連携を強化し、適切なサービスの提供及び円滑な入退院支援に努める。 ・在宅療養者及びその家族（支援者）を主体とした生活支援の推進に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各圏域で開催される連絡協議会への積極的参加・協力により、圏域ごとの連携体制の構築に寄与するとともに、地域リハビリテーションに係る現状と課題の共有及び解決に努める。 ・横（多職種・多機関）と縦（急性期・回復期・地域生活期）の連携を強化し、適切なサービスの提供及び円滑な入退院支援に努める。 ・高齢者等に終末期まで切れ目のないリハビリテーションが提供されるよう、適切なケアマネジメントの促進に努める。 ・在宅療養を必要とする方の主体的生活の継続を支援するために、あらゆる状況に応じた適切なリハビリテーション（障害児・者等へのリハビリテーションや終末期のリハビリテーション等を含む）を提供できるよう、医療・介護の連携強化に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各圏域で開催される連絡協議会への積極的参加・協力により、圏域ごとの連携体制の構築に寄与するとともに、地域リハビリテーションに係る現状と課題の共有及び解決に努める。 ・保健・介護・福祉分野の職員が地域リハビリテーションの視点をもって業務に取り組むことにより、領域横断的な連携の促進に努める。 ・高齢者等に生涯を通じて切れ目のないリハビリテーションが提供されるよう、適切なケアマネジメントの促進に努める。
	③住民参加の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民に対して、健康増進や介護予防等の地域リハビリテーション推進に向けた啓発に努める。 ・地域住民の自助・互助による健康づくりと支え合いの推進に向け、職能を活かした活動支援に努める。 ・患者団体や家族会等の支援に努める。 ・学校教育におけるリハビリテーションの普及啓発に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民に対して、健康増進や介護予防等の地域リハビリテーション推進に向けた啓発に努める。 ・地域住民の自助・互助による健康づくりと支え合いの推進に向け、職能を活かした活動支援に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種講座等においてリハビリテーションの視点を積極的に導入し、地域住民への啓発に努める。 ・地域住民の自助・互助による健康づくりと支え合いの取組を促進するとともに、広域支援センター等と協働し、その支援に努める。 ・地域リハビリテーション関係機関による住民向け講習会等の広報に努める。
	④市町村との協働	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村の地域特性、資源状況や施策の方向性等について、行政機関等との情報共有に努める。 ・地域ケア会議等の地域包括支援ネットワーク構築の場や、市町村介護予防事業等への専門職の参加促進に努める。 ・リハビリテーション資源の少ない市町村への支援に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村等との連携の要になりうるリハビリテーションの視点をもった専門職の増加に努める。 ・行政機関との連携により、予防的ケアが必要な方の支援に努める。 ・広域支援センター等と協働し、地域に不足している地域リハビリテーション関連資源等を検討するとともに、多職種と協働して新たな社会資源の開発と既存資源の活用促進に努める。 ・地域ケア会議等の地域包括支援ネットワーク構築の場や、市町村介護予防事業等への専門職の参加促進に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村の地域特性、資源状況や施策の方向性等について、地域の関係機関及び地域住民等との情報共有に努める。 ・広域支援センター等と協働し、地域に不足している地域リハビリテーション関連資源等を検討するとともに、多職種と協働して新たな社会資源の開発と既存資源の活用促進に努める。 ・地域ケア会議等を開催し、住民組織や多職種・多機関による地域包括支援ネットワークの構築に努める。